

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 9 月 17 日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|------------------------------------|-------|------------------|
| 事業所番号 | 3870105271 | | |
| 法人名 | 株式会社 アクト企画 | | |
| 事業所名 | グループホーム 元気家 | | |
| 所在地 | 松山市福音寺町6 1 5 番地5 (電話) 089-905-8885 | | |
| 管理者 | 八雲 美恵子 | | |
| 評価機関名 | 愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班 | | |
| 所在地 | 愛媛県松山市持田町三丁目8-15 | | |
| 訪問調査日 | 平成 20 年 8 月 1 日 | 評価確定日 | 平成 20 年 9 月 22 日 |

【情報提供票より】 (平成 20 年 7 月 7 日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|------------------|------------------------|--------|
| 開設年月日 | 平成 17 年 10 月 1 日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 17 人 | 常勤 13 人, 非常勤 4 人, 常勤換算 | 15.3 人 |

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|-----------|----------------|---------|---|
| 家賃(平均月額) | 27,000 円 | その他の経費(月額) | 9,500 円 | |
| 敷金 | 有()円 ○ 無 | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有()円 ○ 無 | 有りの場合 償却の有無 | | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり | 1,100 円 | | |

(3) 利用者の概要 (平成 20 年 7 月 7 日事業所記入)

| | | | |
|-------|-----------|---------|---------|
| 利用者人数 | 18 名 | 男性 3 名 | 女性 15 名 |
| 要介護 1 | 4 名 | 要介護 2 | 5 名 |
| 要介護 3 | 7 名 | 要介護 4 | 2 名 |
| 要介護 5 | 名 | 要支援 2 | 名 |
| 年齢 | 平均 83.3 歳 | 最低 68 歳 | 最高 94 歳 |

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

| | | |
|----|----|--------------------|
| 指定 | あり | 指定介護予防認知症対応型共同生活介護 |
| 指定 | なし | 指定認知症対応型通所介護 |
| 届出 | なし | 短期利用型共同生活介護 |
| 加算 | あり | 医療連携体制加算 |

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

昔ながらの土地柄が残る、川沿いにある2階建てのホームである。ホーム内はゆったりとした間取りで、手すりを随所に設けて安全に配慮し、車いすでの移動も安心である。清掃も行き届いており清潔である。開設3年目を迎え、運営者、職員は評価を活かしたサービスの質の向上に前向きに取り組んでいる。本人、家族、職員等で話し合い、それぞれの意見を反映した介護計画を作成している。職員は、楽しみながらをモットーに明るく利用者に接し、日々のケアに取り組んでいる。また、利用者それぞれのペースを大切に、その人らしい暮らしを支援している。献立には利用者の好みを取り入れ、毎日の食事が楽しみとなるよう工夫している。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

評価結果を活かし、運営推進会議の開催回数、地域との交流、職員を育てる取組み、鍵をかけないケアなどについて、できることから改善し、サービスの質の向上に取り組んでいる。

▼ 今回の自己評価に対する取組み状況 (関連項目: 外部4)

評価の意義を理解したうえで職員全員で取組み、リーダーと職員がまとめている。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

市職員、地域代表者、利用者と家族等を参加メンバーとして、平成20年度より2か月毎に開催している。自己及び外部評価の公表、ホームの取組みなどを議題として取り上げ、また、昼食会を開いて献立のアンケート調査を行うなど、参加者から意見をもらってサービスの質の向上に努め、会議を通じた地域との交流にも取り組んでいる。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

重要事項説明書に苦情申立て先を明示し、また玄関に意見箱を設置して対応している。直接、意見や要望を伝えてもらうこともあり、十分話し合って改善に取り組む、サービスの質の向上に繋げている。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

昔ながらの地域の中でホームの存在が徐々に浸透しており、祭りの神輿の乗り入れがあり、また、運営推進会議を通して民生委員から夏祭りのお誘いを受けている。小、中学校は近隣にないため交流はないが、高校生のボランティア活動を受け入れている。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム元気家

(ユニット名) 太陽

記入者(管理者)
氏名 八雲 美恵子

評価完了日 平成 20 年 月 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------|------|--|---|----------------------------|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | (自己評価) 職員で話し合い、その人らしく暮らし続けることを支えていく理念にはなっているが、地域に密着した理念にはなっていない。 (外部評価) 基本理念を職員全員で話し合い、平成20年7月に新たな事業所独自の理念を作成して入口及び居間に掲げているが、地域密着型サービスの意義が十分反映されているとまでは言えない。 | ※ | 地域との交流参加を今後取り組んで行きたい。 職員全員の思いを込めた立派な理念ではあるが、地域密着型サービスの意義や地域交流の必要性を今一度考えて、地域密着型の意義を盛り込んだ理念を再検討してみることを期待する。 |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | (自己評価) 職員全員で考えた理念を共有し、実践に向けて取り組んでいる。 (外部評価) 3か月かけて職員全員で作成した新たな理念を基に実践に取り組んでいるが、職員会議やケアカンファレンスでの振り返りや話し合いが十分とは言えない。ユニットごとの目標はこれから立てる予定である。 | ※ | 作成した理念についての話し合いや振り返りの機会を継続的に持ち、職員間で共有しながら実践に向けて取り組むことが望まれる。また、新たな理念を基にユニットごとの課題やテーマを話し合っ、目標を立てることを期待する。 |
| 3 | | ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | (自己評価) 運営推進会議で取り上げるなどして、理解してもらえるよう取り組んでいる。 | | 家族や地域の方を交えた勉強会を行って行きたい。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|---|----------------------------|---|
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 4 | | ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | (自己評価) 散歩の時など近隣の人達と挨拶を交わしたりはしているが、日常の付き合いは出来ていない。 | | 地域行事に参加し、近隣の人との垣根を低くしていく。 |
| 5 | 3 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | (自己評価) 運営推進会議などで地域に参加出来るように声掛けはしているが、参加には至っていない。 (外部評価) 祭りの神輿の乗り入れ、夏祭りへの参加等、民生委員を通じて交流の機会を増やしている。また、高校の行事として花の日、収穫感謝祭など、年数回ボランティアを受け入れている。 | | 出来る範囲で行事参加をしていきたい。訪問ボランティアや、老人会などと交流していきたい。 |
| 6 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | (自己評価) 運営推進会議で取り上げるなどして、理解してもらえるよう取り組んでいる。町内会長や民生委員に働きかけをしている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 7 | 4 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | (自己評価) 意義を理解しており、評価を活かして少しずつ改善に取り組んでいる。 (外部評価) 自己評価は職員全員で取り組み、リーダーと管理者がまとめている。外部評価は結果を活かして運営推進会議の開催頻度や地域との交流、職員を育てる取り組み、鍵をかけたケアなどについて、できることから改善に取り組んでいる。 | | 職員全員で外部評価に取り組んでいる。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|---|----------------------------|--|
| 8 | 5 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | (自己評価) 運営推進会議での評価や意見について、話し合いを行いサービス向上に活かしている。 (外部評価) 市職員、地域代表者、利用者と家族等を参加メンバーとして、2か月毎に開催している。議題にホームの取り組み、評価結果の公表、食事内容のアンケートなどを取り上げ、参加者から意見や要望をもらい、サービスの向上に活かしているが、参加メンバーが少なくやや固定的である。 | ※ | 会議をより有意義なものとするため、幅広い分野から会議に参加してもらえるような工夫が望まれる。また、会議録には参加者の氏名や役職、議題、質疑応答の内容などを明確に記録することを期待する。 |
| 9 | 6 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | (自己評価) 研修や地域包括の勉強会などに参加し、情報交換を行っている。 (外部評価) 市の介護保険課などに行き来する機会を持っている。地域包括支援センター主催で年4回開催されるケアネットワークにも参加し、サービスの質の向上に取り組んでいる。 | | |
| 10 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | (自己評価) 必要な人には活用できるよう支援している。 | | 勉強会で取り上げていきたい。 |
| 11 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | (自己評価) 勉強会で取り上げ、常に情報交換を行い、防止に努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 12 | | ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | (自己評価) 契約時十分な説明を行い、理解、同意を得ている。 | | |
| 13 | | ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 常に利用者の意見を反映させる体制にしており、情報として職員で共有し、解決に取り組んでいる。 | | |
| 14 | 7 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | (自己評価) 利用者の暮らしぶりや健康状態について、変化があった場合は迅速に連絡するように対応しており、来訪した際には職員が詳しく報告をしている。 (外部評価) 家族の来訪時や、利用者に変化があった時には報告し、また3か月毎に「ホーム便り」を発行して暮らしぶりや健康状態を知らせている。金銭出納簿から転記した書類と領収書を毎月送付している。 | | |
| 15 | 8 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 意見箱や苦情相談窓口を常に設置している。 (外部評価) 重要事項説明書に苦情申立て先を明示し、玄関に意見箱を設置し対応している。家族から直接、意見や要望を伝えてもらうこともあり、管理者が十分に話し合った上で対応し、運営に反映させている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|------|--|--|----------------------------|---|
| 16 | | ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | (自己評価) 常に機会を設けており、職員会議などで報告し意見交換を行い、改善に取り組んでいる。 | | |
| 17 | | ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | (自己評価) 柔軟な対応で勤務の調整に努めている。 | | |
| 18 | 9 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | (自己評価) 異動に関しては、利用者のダメージを防ぐ配慮をしている。 (外部評価) 離職や異動を最小限に抑えるようにしているが、代わった場合は両ユニットで協力して利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 19 | 10 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | (自己評価) 職員の段階に応じて、研修を受ける機会の確保を行っている。 (外部評価) 研修の情報を職員全員に知らせて段階に応じて受講を勧め、出勤扱いとして受講の機会を確保し、受講後は報告書を作成しているが、全員の受講はできていない。内部研修では、2か月毎にケアプラン勉強会を行っている。 | ※ | 研修受講に積極的でない職員や、研修機会の確保が難しい職員も研修が受講できるような仕組みや工夫が期待される。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 20 | 11 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価) 勉強会や研修などで、交流できる機会を設けている。 (外部評価) 地域包括支援センターの声かけによるグループホーム交流会に参加し、管理者による他ホームの見学も行い、交流を図っている。運営法人内のグループホームとの交流を今後予定している。 | | 同業者との相互訪問を実現して行きたい。 |
| 21 | | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | (自己評価) 定期的に話し合いの機会を持ち、有給休暇を取る様に奨励している。 | | |
| 22 | | ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | (自己評価) 個人の自由で研修に参加できるようにしている。 | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 23 | | ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) 事前に訪問し、相手の話をよく聞く機会を作り、本人の思いを受け止める努力をしている。 | | |
| 24 | | ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) 面接時家族と話す時間を設け、思いを受け止める努力をしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 25 | | ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価) 何が必要か見極める努力をしている。 | | |
| 26 | 12 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (自己評価) 本人の納得は得られにくい、徐々に馴染めるように家族等と相談しながら工夫している。 (外部評価) 利用前に利用者宅や入院先等を訪問し、本人及び家族と顔を合わせる機会を持ち、徐々に馴染みながらサービス利用が開始できるよう工夫している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 27 | 13 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | (自己評価) 一人一人の思いを受け止め、職員全員がそれについて共有し、よりよい関係を築いていくよう努めている。 (外部評価) 調理の下ごしらえ、貼り絵等の手作業をしながら、昔のことや歌を教えてもらっている。 | | 勉強会等で自己啓発を行っている。 |
| 28 | | ○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | (自己評価) 面会時に家族との会話の時間を設けている。 | | 情報を共有し本人を支えていくようにしている。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 29 | | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | (自己評価) 外出行事の際は一緒に参加できるよう配慮している。 | | |
| 30 | | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | (自己評価) 関係継続が出来るよう努めている。 | | |
| 31 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | (自己評価) 利用者同士が関わり合いを持てる環境づくりに努めている。 | | |
| 32 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | (自己評価) 他の施設や入院した場合でも、相談等受けており、利用者の面会等も行っている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 33 | 14 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | (自己評価) 普段の生活の中での会話やケアカンファレンス等で本人の意向や希望を聞き、意向に添えるよう職員で話し合いを行っている。 (外部評価) 日々の暮らしの中で一人ひとりの思いや意向を把握し、申し送りノートに記録して、全職員で共有するよう努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|---|----------------------------|---|
| 34 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | (自己評価) 調査表や本人・家族と話すことにより、生活状態の把握に努めている。 | | センター方式を活用し、さらに細かく把握するように取り組んでいきたい。 |
| 35 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | (自己評価) 現状を総合的に把握できるように努めている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 36 | 15 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | (自己評価) それぞれの意見やアイデアを反映したケアプランを作成するよう努めている。 (外部評価) フェイスシートを元に、利用者及び家族、職員でケアカンファレンス会議を持ち、それぞれの意見やアイデアを反映した個別の介護計画を作成している。 | | ケアカンファレンスを月間日程に組み込み、より多くの職員が参加し、より良いケアプラン作成に努めたい。 |
| 37 | 16 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | (自己評価) 期間に応じて見直しを行っており、問題が生じた場合は職員で話し合い対応している。 (外部評価) 3か月毎に定期的な見直しを行い、また変化に応じた見直しを本人や家族とその都度話し合い、現状に即した新たな介護計画を作成しており、確認もしてもらっている。 | | 状況に応じてケアプランの見直しを行っていききたい。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 38 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | (自己評価) ケアプランに添ったケースファイルの書き方にしており、職員が情報を共有し、実践や見直しに活かしている。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 39 | 17 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | (自己評価) 医療連携体制を活かして、日々の健康管理に努めており、要望がある場合は外部へも働きかけている。 (外部評価) デイサービスの利用など、本人や家族の状況や要望に応じて柔軟に支援している。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 40 | | ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | (自己評価) 運営推進会議を活用し、民生委員やボランティアに協力をお願いしている。 | | 地域の方にも協力してもらえるよう働きかけていきたい。 |
| 41 | | ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | (自己評価) 本人の状況や希望に応じて、他のサービスを利用するための支援を行っている。 | | |
| 42 | | ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | (自己評価) 地域包括支援センターの研修に参加したり、運営推進会議に参加してもらうことにより、協力関係を築いている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|--|----------------------------|---|
| 43 | 18 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | (自己評価) 本人及び家族の希望を大切にし、適切な医療が受けられるよう支援している。 (外部評価) 本人及び家族の希望を大切にし、また必要に応じたかかりつけ医の受診を支援している。受診結果のコピーをファイルして利用者の状態を把握している。 | | |
| 44 | | ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | (自己評価) 受診が必要な利用者については、事業所の協力医に受診している。 | | |
| 45 | | ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | (自己評価) 週2回看護師による健康チェックを行っており、受診等の相談をしている。 | | |
| 46 | | ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | (自己評価) 出来る限り病院関係者との情報交換や連携に努めている。本人及び家族とは連絡を密にしている。 | | |
| 47 | 19 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | (自己評価) 家族並びに職員・医師・看護師など交え、繰り返し話し合いをし全員で方針を共有している。 (外部評価) 入居時の早い段階から、本人や家族と方針を話し合っており、現在までに看取りも経験しているが、終末期の看取りマニュアルは作成していない。 | ※ | 利用者や家族が安心してサービスを継続して受けられるようマニュアルを作成し、看取りの経験を活かして健康管理や急変時に対応できるよう、繰り返しの話し合いと方針の統一が求められる。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|------|---|--|----------------------------|--|
| 48 | | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | (自己評価) 家族並びに職員・医師・看護師など交え、繰り返し話し合いをし、チームとして支援に取り組んでいる。 | | |
| 49 | | ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | (自己評価) 家族やケア関係者と十分に話し合い、情報交換に努めている。 | | |
| <p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p> | | | | | |
| 50 | 20 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | (自己評価) 一人ひとりに合った言葉掛けをするようにしており、プライバシー保持の為情報を外部に持ち出さない事を徹底している。 (外部評価) 職員は、利用者への声かけや対応で誇りやプライバシーを損ねないよう気をつけている。記録類は適切に保管し、また処分はシュレッダーで破棄するなど、個人情報の保護も徹底している。 | | |
| 51 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | (自己評価) 出来る限り本人の意思で決定できるように支援している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 52 | 21 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価) 一人ひとりの状態や思いに配慮しながら、柔軟に対応している。 (外部評価) 起床や就寝、食事時間など、一人ひとりのペースを大切にして、希望に添うよう支援している。 | | |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 53 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | (自己評価) 本人自身に選択してもらえる状況を作っている。理美容に関しては、月1度訪問美容を利用して、本人の希望通りにしてもらっている。 | | |
| 54 | 22 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | (自己評価) 利用者の希望に添った献立にしており、食事の準備、片付けなどを職員と一緒にしている。 (外部評価) 料理本を見ながら利用者の好みのメニューを取り入れたり、料理の下ごしらえや下膳などを一緒にしている。食卓を共に囲み、会話しながら食事を楽しんでいる。 | | |
| 55 | | ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | (自己評価) 本人の嗜好品については、本人の状況に応じて支援している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 56 | | ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | (自己評価) 個々の排泄チェックを行っており、声掛けや誘導を実施している。 | | |
| 57 | 23 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | (自己評価) 時間帯は決まっているが、本人の希望を聞き楽しく入浴して貰えるよう支援している。 (外部評価) 2日から3日に1回、午後の入浴を基本として、利用者の希望やタイミングを見ながら入浴を支援している。入浴が苦手な利用者には時間をかけて声をかけたり、誘導に工夫している。 | | |
| 58 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | (自己評価) 利用者の生活習慣や状況に応じて快い睡眠が取れるよう支援している。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 59 | 24 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | (自己評価) ケアプランに添って、利用者一人ひとりに合ったレクリエーションを行っている。 (外部評価) 家族と一緒にのお花見、外食、ホーム内運動会、誕生会や敬老会、クリスマスなどのイベントを催している。また、ぬり絵、トランプ、パズル、畑の草引きなど、一人ひとりの生活歴や力を活かして楽しみごとや気晴らしの支援をしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|--|----------------------------|--|
| 60 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | (自己評価) 家族との話し合いにより、利用者がお金を所持してはいないが、職員と一緒に買い物は出来ている。 | | |
| 61 | 25 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | (自己評価) 気候の良い時は、庭に出て花壇や畑を眺めたり、散歩に出かけたりしている。 (外部評価) 庭に出て草花を眺めたり、夕方散歩に出かけるなど、本人の希望に添うように外出の機会を確保するよう努めている。 | | |
| 62 | | ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | (自己評価) 利用者一人ひとりの希望に添った外出支援を行っている。 | | |
| 63 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | (自己評価) 本人の希望により電話をしたり、手紙を出したり出来るように支援している。 | | |
| 64 | | ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | (自己評価) いつでも気軽に訪問出来るような雰囲気作りに努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|------|---|---|----------------------------|--|
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 65 | | ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価) 利用者の安全を考え、共に生活していく上で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | | |
| 66 | 26 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | (自己評価) やむを得ず施錠の場合、希望があればいつでも開錠し同行することを利用者に周知している。 (外部評価) 日中、玄関の鍵はかけていない。ユニットの入口は時によりロックする場合もあるが、外出願望のある利用者には庭への誘導など工夫して、安全に配慮している。 | | |
| 67 | | ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | (自己評価) 昼夜を通して、居室で過しているときにもこまめに声掛けや見守りを行い安全に配慮している。 | | |
| 68 | | ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | (自己評価) 本人との話し合いにより、納得のいく場所に保管している。 | | |
| 69 | | ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | (自己評価) 事故を防ぐために勉強会などを行っており、職員一人ひとりが危機管理意識を持てるよう取り組んでいる。 | | |


| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 70 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | (自己評価) 応急手当や初期対応の勉強会を定期的に行うようにしている。 | | 全ての職員が対応できるようにしていきたい。 |
| 71 | 27 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | (自己評価) 運営推進会議などで地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。 (外部評価) 消防署の協力の下、年1回の避難・防火訓練を行い、平成20年度は9月に2回目の訓練を予定している。緊急連絡網及び避難訓練マニュアルを作成し、自主訓練を行っているが、回数が十分とは言えない。また、地域の協力が得られているとまでは言えない。 | ※ | 夜間想定も含めての自主訓練を定期的に行い、全職員が緊急時に適切に対応できる方法を身につけておくことが求められる。また、地域住民の協力を得られるよう、いろいろな機会を用いて働きかけていくことを期待する。 |
| 72 | | ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | (自己評価) リスクについては家族等に説明し対応策を話し合っている。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 73 | | ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | (自己評価) 利用者の体調変化や異変の発見に努め、速やかに状況を共有し対応している。 | | |
| 74 | | ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | (自己評価) 利用者の使用している薬の理解に努め、症状の変化の確認をしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|---|----------------------------|--|
| 75 | | ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | (自己評価) 予防と対応のための工夫に取り組んでいる。 | | |
| 76 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | (自己評価) 利用者の状態に応じた支援をしている。 | | |
| 77 | 28 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価) 利用者の状況に応じた食事量や水分量の確保に努めている。 (外部評価) 食事及び水分摂取量を記録し、ゼリーやジュースも含めて必要量が確保できるよう支援している。野菜中心の献立を立て、定期的に体重測定を行い、健康維持を図っている。利用者の好みも入れながら、職員が献立を立てているが、カロリーの把握まではしていない。 | ※ | 栄養バランスやカロリーが把握できるよう、栄養士によるチェックを定期的にしてもらうことが望ましい。 |
| 78 | | ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等） | (自己評価) 予防や対応の勉強会を行い実行している。 | | |
| 79 | | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | (自己評価) 調理用具等の衛生管理を日々行い、安全な食材の使用と管理に努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 80 | | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | (自己評価) 花や観葉植物などを配置し、親しみ易く安心して出入り出来る様工夫している。 | | |
| 81 | 29 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) 季節に応じた飾りつけをしたり、生活感を出すように工夫している。 (外部評価) 廊下、居間は明るくゆったりしており、広い廊下には手すりを付けて安全面にも配慮し、車いすの移動も楽である。トイレ、浴室とも段差はなく、清潔に保たれている。居間には利用者手作りの笹飾りやひまわりなど季節を感じる貼り絵を飾り、居心地よく過ごせるよう工夫している。 | | |
| 82 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | (自己評価) 思い思いに過ごせるような工夫をしている。 | | |
| 83 | 30 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) 家族と相談しながら馴染みのものや好みのも物を生かして、気持ちよく過ごせるよう工夫している。 (外部評価) それぞれの部屋にテレビ、ベッド、整理ダンスや大正琴、ぬいぐるみなどの使い慣れた物や好みのもを持ち込み、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 84 | | ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | (自己評価) 換気は適時行っており、冷暖房の温度調整もこまめに行っている。 | | |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | | |
| 85 | | ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | (自己評価) 出来るだけ自立した生活が送れるよう支援している。 | | |
| 86 | | ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | (自己評価) 居室やトイレなどに一人で行けるよう工夫している。 | | |
| 87 | | ○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | (自己評価) 庭作りを通して利用者が楽しめる空間作りに取り組んでいる。 | | |

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

| V. サービスの成果に関する項目 | | | |
|------------------|---|---|---|
| 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ① ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない | 普通の会話やケアカンファレンス等で本人の意向を聞いている。 |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | (自己 ① 毎日ある 評価) ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない | 出来る限り利用者の隣に座り会話する時間を持っている。食事やおやつの時間にゆったりと過している。 |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | (自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない | 自分のペースで自由に過せるように配慮している。 |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | (自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない | 利用者一人ひとりに合った関わり方をするように努めている。 |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | (自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない | 散歩以外の外出に於いてはほとんど出来ていない。 |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | (自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない | 利用者の状況においては申し送り等で職員間で共有しており、問題が起きた場合は速やかに解決・改善に努めている。 |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | (自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない | 柔軟な支援は出来ているが、利用者の要望の全てに応じることは来ていない。 |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく | (自己 ① ほぼ全ての家族と 評価) ② 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどできていない | なかなか面会に来られない家族に対しては、情報や意思の共有が出来ていない。 |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | (自己 ① ほぼ毎日のように 評価) ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない | 一人一人の馴染みの人は尋ねてきているが、地域の人々が尋ねてくることは少ない。 |

| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 |
|-----|---|---|---------------------------------------|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない | 地域参加できるような声掛けはしており、現在参加できる行事など検討中である。 |
| 98 | 職員は、活き活きと働いている | ① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 個々の意見を自由に出し合える雰囲気がありチームとして働いている。 |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | 1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 全てではないがケアカンファレンス等で話を聞く限り、おおむね満足している。 |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | 1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない | 頻繁に面会に来てくださる家族とは信頼関係が築けている。 |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム元気家

(ユニット名) 大地

記入者(管理者)
氏名 八雲 美恵子

評価完了日 平成 20 年 月 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------|------|--|---|----------------------------|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | (自己評価) 職員で話し合い、その人らしく暮らし続けることを支えていく理念にはなっているが、地域に密着した理念にはなっていない。 (外部評価) 基本理念を職員全員で話し合い、平成20年7月に新たな事業所独自の理念を作成して入口及び居間に掲げているが、地域密着型サービスの意義が十分反映されているとまでは言えない。 | ※ | 地域との交流参加を今後取り組んで行きたい。 職員全員の思いを込めた立派な理念ではあるが、地域密着型サービスの意義や地域交流の必要性を今一度考えて、地域密着型の意義を盛り込んだ理念を再検討してみることを期待する。 |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | (自己評価) 職員全員で考えた理念を共有し、実践に向けて取り組んでいる。 (外部評価) 3か月かけて職員全員で作成した新たな理念を基に実践に取り組んでいるが、職員会議やケアカンファレンスでの振り返りや話し合いが十分とは言えない。ユニットごとの目標はこれから立てる予定である。 | ※ | 作成した理念についての話し合いや振り返りの機会を継続的に持ち、職員間で共有しながら実践に向けて取り組むことが望まれる。また、新たな理念を基にユニットごとの課題やテーマを話し合っ、目標を立てることを期待する。 |
| 3 | | ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | (自己評価) 運営推進会議で取り上げるなどして、理解してもらえるよう取り組んでいる。 | | 家族や地域の方を交えた勉強会を行って行きたい。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|---|----------------------------|---|
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 4 | | ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | (自己評価) 散歩の時など近隣の人達と挨拶を交わしたりはしているが、日常の付き合いは出来ていない。 | | 地域行事に参加し、近隣の人との垣根を低くしていく。 |
| 5 | 3 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | (自己評価) 運営推進会議などで地域に参加出来るように声掛けはしているが、参加には至っていない。 (外部評価) 祭りの神輿の乗り入れ、夏祭りへの参加等、民生委員を通じて交流の機会を増やしている。また、高校の行事として花の日、収穫感謝祭など、年数回ボランティアを受け入れている。 | | 出来る範囲で行事参加をしていきたい。訪問ボランティアや、老人会などと交流していきたい。 |
| 6 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | (自己評価) 運営推進会議で取り上げるなどして、理解してもらえよう取り組んでいる。町内会長や民生委員に働きかけをしている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 7 | 4 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | (自己評価) 意義を理解しており、評価を活かして少しずつ改善に取り組んでいる。 (外部評価) 自己評価は職員全員で取り組み、リーダーと管理者がまとめている。外部評価は結果を活かして運営推進会議の開催頻度や地域との交流、職員を育てる取り組み、鍵をかけたケアなどについて、できることから改善に取り組んでいる。 | | 職員全員で外部評価に取り組んでいる。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|---|----------------------------|--|
| 8 | 5 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | (自己評価) 運営推進会議での評価や意見について、話し合いを行いサービス向上に活かしている。 (外部評価) 市職員、地域代表者、利用者と家族等を参加メンバーとして、2か月毎に開催している。議題にホームの取り組み、評価結果の公表、食事内容のアンケートなどを取り上げ、参加者から意見や要望をもらい、サービスの向上に活かしているが、参加メンバーが少なくやや固定的である。 | ※ | 会議をより有意義なものとするため、幅広い分野から会議に参加してもらえるような工夫が望まれる。また、会議録には参加者の氏名や役職、議題、質疑応答の内容などを明確に記録することを期待する。 |
| 9 | 6 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | (自己評価) 研修や地域包括の勉強会などに参加し、情報交換を行っている。 (外部評価) 市の介護保険課などに行き来する機会を持っている。地域包括支援センター主催で年4回開催されるケアネットワークにも参加し、サービスの質の向上に取り組んでいる。 | | |
| 10 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | (自己評価) 必要な人には活用できるよう支援している。 | | 勉強会で取り上げていきたい。 |
| 11 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | (自己評価) 勉強会で取り上げ、常に情報交換を行い、防止に努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 12 | | ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | (自己評価) 契約時十分な説明を行い、理解、同意を得ている。 | | |
| 13 | | ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 常に利用者の意見を反映させる体制にしており、情報として職員で共有し、解決に取り組んでいる。 | | |
| 14 | 7 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | (自己評価) 利用者の暮らしぶりや健康状態について、変化があった場合は迅速に連絡するように対応しており、来訪した際には職員が詳しく報告をしている。 (外部評価) 家族の来訪時や、利用者に変化があった時には報告し、また3か月毎に「ホーム便り」を発行して暮らしぶりや健康状態を知らせている。金銭出納簿から転記した書類と領収書を毎月送付している。 | | |
| 15 | 8 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 意見箱や苦情相談窓口を常に設置している。 (外部評価) 重要事項説明書に苦情申立て先を明示し、玄関に意見箱を設置し対応している。家族から直接、意見や要望を伝えてもらうこともあり、管理者が十分に話し合った上で対応し、運営に反映させている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|------|--|--|----------------------------|---|
| 16 | | ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | (自己評価) 常に機会を設けており、職員会議などで報告し意見交換を行い、改善に取り組んでいる。 | | |
| 17 | | ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | (自己評価) 柔軟な対応で勤務の調整に努めている。 | | |
| 18 | 9 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | (自己評価) 異動に関しては、利用者のダメージを防ぐ配慮をしている。 (外部評価) 離職や異動を最小限に抑えるようにしているが、代わった場合は両ユニットで協力して利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 19 | 10 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | (自己評価) 職員の段階に応じて、研修を受ける機会の確保を行っている。 (外部評価) 研修の情報を職員全員に知らせて段階に応じて受講を勧め、出勤扱いとして受講の機会を確保し、受講後は報告書を作成しているが、全員の受講はできていない。内部研修では、2か月毎にケアプラン勉強会を行っている。 | ※ | 研修受講に積極的でない職員や、研修機会の確保が難しい職員も研修が受講できるような仕組みや工夫が期待される。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 20 | 11 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価) 勉強会や研修などで、交流できる機会を設けている。 (外部評価) 地域包括支援センターの声かけによるグループホーム交流会に参加し、管理者による他ホームの見学も行い、交流を図っている。運営法人内のグループホームとの交流を今後予定している。 | | 同業者との相互訪問を実現して行きたい。 |
| 21 | | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | (自己評価) 定期的に話し合いの機会を持ち、有給休暇を取る様に奨励している。 | | |
| 22 | | ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | (自己評価) 個人の自由で研修に参加できるようにしている。 | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 23 | | ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) 事前に訪問し、相手の話をよく聞く機会を作り、本人の思いを受け止める努力をしている。 | | |
| 24 | | ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) 面接時家族と話す時間を設け、思いを受け止める努力をしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 25 | | ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価) 何が必要か見極める努力をしている。 | | |
| 26 | 12 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (自己評価) 本人の納得は得られにくい、徐々に馴染めるように家族等と相談しながら工夫している。 (外部評価) 利用前に利用者宅や入院先等を訪問し、本人及び家族と顔を合わせる機会を持ち、徐々に馴染みながらサービス利用が開始できるよう工夫している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 27 | 13 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | (自己評価) 一人一人の思いを受け止め、職員全員がそれについて共有し、よりよい関係を築いていくよう努めている。 (外部評価) 調理の下ごしらえ、貼り絵等の手作業をしながら、昔のことや歌を教えてもらっている。 | | 勉強会等で自己啓発を行っている。 |
| 28 | | ○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | (自己評価) 面会時に家族との会話の時間を設けている。 | | 情報を共有し本人を支えていくようにしている。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 29 | | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | (自己評価) 外出行事の際は一緒に参加できるよう配慮している。 | | |
| 30 | | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | (自己評価) 関係継続が出来るよう努めている。 | | |
| 31 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | (自己評価) 利用者同士が関わり合いを持てる環境づくりに努めている。 | | |
| 32 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | (自己評価) 他の施設や入院した場合でも、相談等受けており、利用者の面会等も行っている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 33 | 14 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | (自己評価) 普段の生活の中での会話やケアカンファレンス等で本人の意向や希望を聞き、意向に添えるよう職員で話し合いを行っている。 (外部評価) 日々の暮らしの中で一人ひとりの思いや意向を把握し、申し送りノートに記録して、全職員で共有するよう努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|---|----------------------------|---|
| 34 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | (自己評価) 調査表や本人・家族と話すことにより、生活状態の把握に努めている。 | | センター方式を活用し、さらに細かく把握するように取り組んでいきたい。 |
| 35 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | (自己評価) 現状を総合的に把握できるように努めている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 36 | 15 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | (自己評価) それぞれの意見やアイデアを反映したケアプランを作成するよう努めている。 (外部評価) フェイスシートを元に、利用者及び家族、職員でケアカンファレンス会議を持ち、それぞれの意見やアイデアを反映した個別の介護計画を作成している。 | | ケアカンファレンスを月間日程に組み込み、より多くの職員が参加し、より良いケアプラン作成に努めたい。 |
| 37 | 16 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | (自己評価) 期間に応じて見直しを行っており、問題が生じた場合は職員で話し合い対応している。 (外部評価) 3か月毎に定期的な見直しを行い、また変化に応じた見直しを本人や家族とその都度話し合い、現状に即した新たな介護計画を作成しており、確認もしてもらっている。 | | 状況に応じてケアプランの見直しを行っていききたい。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 38 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | (自己評価) ケアプランに添ったケースファイルの書き方にしており、職員が情報を共有し、実践や見直しに活かしている。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 39 | 17 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | (自己評価) 医療連携体制を活かして、日々の健康管理に努めており、要望がある場合は外部へも働きかけている。 (外部評価) デイサービスの利用など、本人や家族の状況や要望に応じて柔軟に支援している。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 40 | | ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | (自己評価) 運営推進会議を活用し、民生委員やボランティアに協力をお願いしている。 | | 地域の方にも協力してもらえるよう働きかけていきたい。 |
| 41 | | ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | (自己評価) 本人の状況や希望に応じて、他のサービスを利用するための支援を行っている。 | | |
| 42 | | ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | (自己評価) 地域包括支援センターの研修に参加したり、運営推進会議に参加してもらうことにより、協力関係を築いている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|--|----------------------------|---|
| 43 | 18 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | (自己評価) 本人及び家族の希望を大切にし、適切な医療が受けられるよう支援している。 (外部評価) 本人及び家族の希望を大切にし、また必要に応じたかかりつけ医の受診を支援している。受診結果のコピーをファイルして利用者の状態を把握している。 | | |
| 44 | | ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | (自己評価) 受診が必要な利用者については、事業所の協力医に受診している。 | | |
| 45 | | ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | (自己評価) 週2回看護師による健康チェックを行っており、受診等の相談をしている。 | | |
| 46 | | ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | (自己評価) 出来る限り病院関係者との情報交換や連携に努めている。本人及び家族とは連絡を密にしている。 | | |
| 47 | 19 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | (自己評価) 家族並びに職員・医師・看護師など交え、繰り返し話し合いをし全員で方針を共有している。 (外部評価) 入居時の早い段階から、本人や家族と方針を話し合っており、現在までに看取りも経験しているが、終末期の看取りマニュアルは作成していない。 | ※ | 利用者や家族が安心してサービスを継続して受けられるようマニュアルを作成し、看取りの経験を活かして健康管理や急変時に対応できるよう、繰り返しの話し合いと方針の統一が求められる。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|------|---|---|----------------------------|--|
| 48 | | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | (自己評価) 家族並びに職員・医師・看護師など交え、繰り返し話し合いをし、チームとして支援に取り組んでいる。 | | |
| 49 | | ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | (自己評価) 家族やケア関係者と十分に話し合い、情報交換に努めている。 | | |
| <p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p> | | | | | |
| 50 | 20 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | (自己評価) 個人情報の厳守を常に心掛けている。 | | |
| | | | (外部評価) 職員は、利用者への声かけや対応で誇りやプライバシーを損ねないよう気をつけている。記録類は適切に保管し、また処分はシュレッダーで破棄するなど、個人情報の保護も徹底している。 | | |
| 51 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | (自己評価) 自分で決定できるような問いかけや本人の意思を尊重している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 52 | 21 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価) 一人ひとりの状態や思いに配慮しながら、柔軟に対応している。 (外部評価) 起床や就寝、食事時間など、一人ひとりのペースを大切にして、希望に添うよう支援している。 | | |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 53 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | (自己評価) 本人自身に選択してもらえ状況を作っている。理美容に関しては、月1度訪問美容を利用して、本人の希望通りにしてもらっている。 | | |
| 54 | 22 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | (自己評価) 利用者の希望に添った献立にしており、その人に合った準備、片付けなど楽しみながら出来るよう支援している。 (外部評価) 料理本を見ながら利用者の好みのメニューを取り入れたり、料理の下ごしらえや下膳などを一緒にしている。食卓を共に囲み、会話しながら食事を楽しんでいる。 | | |
| 55 | | ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | (自己評価) 行事やお祝い事の献立は本人の希望を取り入れている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| 56 | | ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | (自己評価) 個々の排泄チェックを行っており、声掛けや誘導を実施している。 | | |
| 57 | 23 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | (自己評価) 時間帯は決まっているが、本人の希望を聞き楽しく入浴して貰えるよう支援している。 (外部評価) 2日から3日に1回、午後の入浴を基本として、利用者の希望やタイミングを見ながら入浴を支援している。入浴が苦手な利用者には時間をかけて声をかけたり、誘導に工夫している。 | | |
| 58 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | (自己評価) 利用者の生活習慣や状況に応じて快い睡眠が取れるよう支援している。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 59 | 24 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | (自己評価) 金魚のエサやりや草花の手入れなど楽しみながら役割をこなしてもらっている。 (外部評価) 家族と一緒にのお花見、外食、ホーム内運動会、誕生会や敬老会、クリスマスなどのイベントを催している。また、ぬり絵、トランプ、パズル、畑の草引きなど、一人ひとりの生活歴や力を活かして楽しみごとや気晴らしの支援をしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|--|----------------------------|--|
| 60 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | (自己評価) 家族との話し合いにより、利用者がお金を所持してはいないが、職員と一緒に買い物は出来ている。 | | |
| 61 | 25 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | (自己評価) 気候の良い時は、庭に出て花壇や畑を眺めたり、散歩に出かけたりしている。 (外部評価) 庭に出て草花を眺めたり、夕方散歩に出かけるなど、本人の希望に添うように外出の機会を確保するよう努めている。 | | |
| 62 | | ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | (自己評価) 年間の行事の中で家族も参加できるよう計画し実施している。 | | |
| 63 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | (自己評価) 本人の希望により電話をしたり、手紙を出したり出来るように支援している。 | | |
| 64 | | ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | (自己評価) いつでも気軽に訪問出来るような雰囲気作りに努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|------|---|---|----------------------------|--|
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 65 | | ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価) 自覚していない身体拘束が行われていないか、日頃より振り返りを行っている。 | | |
| 66 | 26 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | (自己評価) やむを得ず施錠の場合、希望があればいつでも開錠し同行することを利用者に周知している。 (外部評価) 日中、玄関の鍵はかけていない。ユニットの入口は時によりロックする場合もあるが、外出願望のある利用者には庭への誘導など工夫して、安全に配慮している。 | | |
| 67 | | ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | (自己評価) 日中は利用者の状況把握に努めている。夜間は時間ごとに巡回し、その日要観察の利用者には回数を増やし見守りを実施している。 | | |
| 68 | | ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | (自己評価) 全てを取り除くのではなく職員が把握し注意を促したり状況に応じた対応をしている。 | | |
| 69 | | ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | (自己評価) 事故を防ぐために勉強会などを行っており、職員一人ひとりが危機管理意識を持てるよう取り組んでいる。 | | |


| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 70 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | (自己評価) 応急手当や初期対応の勉強会を定期的に行うようにしている。 | | 全ての職員が対応できるようにしていきたい。 |
| 71 | 27 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | (自己評価) 運営推進会議などで地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。 (外部評価) 消防署の協力の下、年1回の避難・防火訓練を行い、平成20年度は9月に2回目の訓練を予定している。緊急連絡網及び避難訓練マニュアルを作成し、自主訓練を行っているが、回数が十分とは言えない。また、地域の協力が得られているとまでは言えない。 | ※ | 夜間想定も含めての自主訓練を定期的に行い、全職員が緊急時に適切に対応できる方法を身につけておくことが求められる。また、地域住民の協力を得られるよう、いろいろな機会を用いて働きかけていくことを期待する。 |
| 72 | | ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている | (自己評価) リスクについては家族等に説明し対応策を話し合っている。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 73 | | ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | (自己評価) 利用者の体調変化や異変の発見に努め、速やかに状況を共有し対応している。 | | |
| 74 | | ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | (自己評価) 利用者の使用している薬の理解に努め、症状の変化の確認をしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|---|----------------------------|--|
| 75 | | ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | (自己評価) 利用者の体調を考慮し、野菜を多く摂取できるような献立を心掛けている。 | | |
| 76 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | (自己評価) 各自に口腔ケアを促している。自分で出来ない利用者には介助にて行っている。 | | |
| 77 | 28 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価) 利用者の状況に応じた食事量や水分量の確保に努めている。 (外部評価) 食事及び水分摂取量を記録し、ゼリーやジュースも含めて必要量が確保できるよう支援している。野菜中心の献立を立て、定期的に体重測定を行い、健康維持を図っている。利用者の好みも入れながら、職員が献立を立てているが、カロリーの把握まではしていない。 | ※ | 栄養バランスやカロリーが把握できるよう、栄養士によるチェックを定期的にしてもらうことが望ましい。 |
| 78 | | ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等） | (自己評価) 予防や対応の勉強会を行い実行している。 | | 日々の中で職員同士が確認し徹底していく。 |
| 79 | | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | (自己評価) 調理用具等の衛生管理を日々行い、安全な食材の使用と管理に努めている。 | | 食中毒の予防のために調理用具の除菌を徹底する。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 80 | | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | (自己評価) 花や観葉植物などを配置し、親しみ易く安心して出入り出来る様工夫している。 | | |
| 81 | 29 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) 季節に応じた飾りつけをしたり、生活感を出すように工夫している。 (外部評価) 廊下、居間は明るくゆったりしており、広い廊下には手すりを付けて安全面にも配慮し、車いすの移動も楽である。トイレ、浴室とも段差はなく、清潔に保たれている。居間には利用者手作りの笹飾りやひまわりなど季節を感じる貼り絵を飾り、居心地よく過ごせるよう工夫している。 | | |
| 82 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | (自己評価) 思い思いに過ごせるような工夫をしている。 | | 気の合う利用者同士と一緒に過ごせるような工夫をしている。 |
| 83 | 30 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) 家族と相談しながら馴染みのものや好みのも物を生かして、気持ちよく過ごせるよう工夫している。 (外部評価) それぞれの部屋にテレビ、ベッド、整理ダンスや大正琴、ぬいぐるみなどの使い慣れた物や好みのもを持ち込み、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 84 | | ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | (自己評価) 換気は適時行っており、冷暖房の温度調整もこまめに行っている。 | | 各利用者が感じる温度が違うので、居室での換気や温度調整に配慮している。 |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | | |
| 85 | | ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | (自己評価) 出来るだけ自立した生活が送れるよう支援している。 | | |
| 86 | | ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | (自己評価) 家事や手作業等一人ひとり出来ることはしてもらう様に支援している。 | | |
| 87 | | ○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | (自己評価) 庭作りを通して利用者が楽しめる空間作りに取り組んでいる。 | | |

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

| V. サービスの成果に関する項目 | | | |
|------------------|--|---|--|
| 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ① ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない | 普段の会話やケアカンファレンス等で本人の意向を聞いている。 |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | (自己 ① 毎日ある 評価) ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない | 午前・午後とお茶の時間を取り、利用者と職員とで一緒にゆったりと過ごすようにしている。 |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | (自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない | 出来る限りその人のペースで暮らすように支援している。 |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | (自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない | 職員と関わりあうことで出来ることもあり、笑顔が見られる。 |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | (自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない | 散歩以外の外出に於いて、買い物等は家族にお願いしている。 |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている | (自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない | 医療機関と連携し、健康面・安全面で安心して過せるよう支援している。 |
| 94 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | (自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない | 出来る限り利用者の状況や要望に応じた支援をしている。 |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | (自己 ① ほぼ全ての家族と 評価) ② 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどできていない | 家族と良い信頼関係が築けるように支援している。 |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | (自己 ① ほぼ毎日のように 評価) ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない | 城南高校のボランティアなどが来てくれている。 |

| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 |
|-----|---|---|---------------------------------------|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない | 地域参加できるような声掛けはしており、現在参加できる行事など検討中である。 |
| 98 | 職員は、生き活きと働いている | ① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 常に利用者の情報を共有し、チームとして働いている。 |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 全てではないがケアカンファレンス等で話を聞く限り、おおむね満足している。 |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない | 入居して明るくなった、元気になった等の声をよく聞く。 |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)